

伊賀市 事務事業評価シート

経常的事務事業

事業名	1003	中学校管理用備品整備事業	会計	01	一般会計
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費
担当部課名	教育部教育総務課		項	03	中学校費
作成者氏名	塚脇 逸子	連絡先	目	01	学校管理費
		22-9675	細目	103	学校管理用備品整備事業
			細々目	01	学校管理用備品整備事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	中学生および教職員	学校の備品環境を整備し、適正な教育活動を行うことにより生徒の心身の発達を助長する。
本年度事業内容	1 屋内運動場暗幕、放送設備、屋内運動場用椅子等 管理用備品の買い替え。	
	根拠法令・要綱等	

投入資源

投入人員	正規職員 (人)	H17	H18(予算)	H19(予算)
		0.1	0.1	0.1
支出内訳(千円)	人件費合計(A)	720	720	720
	事業費(B)	5,641	5,000	5,500
	管理用備品	4,798	5,000	5,500
	給食用備品	843	0	0
	その他			
合計(A+B)		6,361	5,720	6,220
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	6,361	5,720	6,220
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
中学校備品購入	点	42	50	55			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
備品購入率	分子:購入した備品の数 分母:緊急性、重要性が高いと判断される備品の数	%	10 目標 (20)	10	15
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

備品の買い替え希望が多い。建設年数校がたった学校ほど要望が強く出されている。
--

評価	有効性	4	少ない予算をやりくりして備品を購入している。円滑な学校運営のため、あと少なくとも2割増の予算を切望する。	総合評価 <b>A</b>
	達成度	2		
	効率性	4		